



学生相談室ってどんなところ？

学生相談室とは、学生生活を送る上で生じる悩みや問題、自分自身にまつわるさまざまなことについて相談することができる場所です。「相談したいことがあるけれどもどこに相談すればよいかわからない…」といった時や「相談するほどでもないけれども落ち着いた場所で話を聞いてほしい」といった時にもご利用いただけます。相談員は公認心理師・臨床心理士の資格を持つカウンセラーが担当し、相談者のプライバシーには十分配慮いたします。毎週金曜日と月1回土曜日に3階演習室Iにて開室しています。相談は原則予約制ですが、ドアが開いている時には予約がなくても入室できます。予約される場合には、1階事務室のカウンターにおかれた予約ノートをご利用ください。みなさんの来室をお待ちしております。

相

談

室

だ

よ

り



担当カウンセラーの紹介

柚木 颯侏 (ゆうき・そうし)
毎週金曜日を担当しています。
飛行機、地図、旅、パン、コーヒー、カフェ好きです。九州出身のためか暑さには強く、寒さには弱いので、冬はもこもこ・ぬくぬくの万全の体制で校内におります。お気軽にお声かけください☺

山科 湖 (やましな・いずみ)
今年秋から月1回土曜日を担当しています。もともとマスコミ系の会社員から転職して心理士(師)になりました。休日は、神社巡りやドライブしたりしています。知らない町や初めての場所をひとりてぶらぶらするのが好きです。気軽に声をかけて下さいね。



ココロ・コラム 聴き手の反応と信頼関係



楽しい体験をした翌日、友達にそのことを話す…といったことは日常よくある場面です。しかしなぜ私たちは誰かに自分の体験を伝えようとするのでしょうか？

あなたがAさんとBさんのそれぞれに話をしたときの二人の反応を見てみましょう。

ええー！！すごい！！ハワイなんて行ったことないな～いつ行くの？

Aさん

ふーん。そう。

Bさん

昨日、スーパーの抽選でハワイ1週間の旅が当たったんだよ！

話し手にとってAさんに話した時とBさんに話した時に得られる体験は同じでしょうか？異なるのでしょうか？

Aさんの反応から、話し手は「わかってもらえた」安堵感、「話を楽しんでもらえた」という喜び、「関心をもってもらえた」という嬉しさを感じているかもしれませんね。一方、Bさんの反応からは、「あまり興味をもってもらえなかった」という残念さ、「もしかして邪魔をしてしまったのか」という不安感などを感じやすい状態といえるでしょう。

このように話し手は聴き手の反応によって、得られる体験が異なるものとなり、お互いの印象にも影響を与えます。このことは患者さんと医療従事者といった関係性であっても同様です。患者さんと医療従事者にとって信頼関係は欠かせないものですが、信頼関係の基礎は日頃のコミュニケーションからうまれます。どんなに忙しい時でも患者さんの話に心から耳を傾けることを忘れないようにしたいですね。



相談室だより 第1号
発行日：2023年11月吉日
発行：国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校
学生相談室

編集後記

日に日に朝晩の冷え込みを感じる気候ですね。このたび相談室だより第1号を発行しましたがいかがでしたでしょうか。皆さんからの興味・関心のあるトピックを今後も掲載していきたいと考えていますので、お気軽に相談室までご意見をお寄せいただければ幸いです。

